

別記

再び市民諸賢の

厳正なる批判を乞ふ！！

白牡丹(五品館)主和民を監査後とす。府下田端町西台遊り天野金屋三三三の
る争議に付してはす。私共が皆様に非(天野)をあります。して是非にして嚴
民諸賢の批判は経業員とす。温厚公正なる紳士的なる純心友を認むる
情は糾弾として争議員に集めておきます。

然るに天野王坊主は凶悪齷の素を依理美態を改めたいのであります。在
に四十餘日徒らと不生産の百多費明と、非小紅性大なるを片塵の向物なる
を上げるべし。會社が及ぶを求めた事案、三三三理事會の扶養文徳會社に
した事案、次に社も会社を扱は「不下ラウキ」にんが百多費でも二百
つて見ると、放言をせざるのであります。此事はよく、小紅會社が以由
をか知らしむる必要であると思ひます。

市民諸賢より、今や光榮なる故を云う。主和民は最も和協者なり。以て
行方をおへしとせざるのであります。故に再び理事會を糾弾するに、
名をのびてあります。

一、會社は私家の権柄を不認しをあります。各協を疎隔し知あります。
即ち左に五品館茶店の工材権柄を、今を會社に其分を分ち、亦七、八條に
る責任を回遊しをせざるのであります。

二、會社は経済的行々、つまつて既之を備うて、其れたいとして、
金貨は経済的行々、つまつて既之を備うて、其れたいとして、
金貨は経済的行々、つまつて既之を備うて、其れたいとして、
金貨は経済的行々、つまつて既之を備うて、其れたいとして、